

会 議 名	平成 27 年度 第 3 回港区 3 R 推進行動会議
開 催 日 時	平成 27 年 10 月 26 (月) 午後 2 時から 4 時まで
開 催 場 所	男女平等参画センター (リーブラ) 学習室 C
委 員	(出席者) 鬼沢座長、森委員、中里委員、木原委員、櫻林委員、山田委員、大駒委員、岩政委員、小沼委員、太田委員、上嶋氏 (有賀委員代理)、関本委員、荒川委員 (欠席者) 関根委員、島村委員
事 務 局	福田係長、杉山、高島、藤野、秋元
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 段ボールコンポスト出前講座 開催報告</p> <p>(2) 段ボールコンポスト懇談会&園芸教室 開催報告</p> <p>(3) 紙ごみ削減&エコアクション 21 紹介セミナー 開催報告</p> <p>(4) 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業 実施報告</p> <p>(5) 「みんなと 3 R」パネル展示会 開催報告</p> <p>(6) みなと区民まつりブース出展 出展報告</p> <p>(7) みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクトについて 実施報告</p> <p>(8) 「みんなと 3 R」ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数</p> <p>(9) 平成 28 年度の新規事業等について (進捗状況)</p> <p>2. 意見交換</p> <p>(1) エコ料理教室の開催について</p> <p>(2) リユース♡(ハート)♡(ハート)ブリッジの開催について (案)</p> <p>(3) 事業者向けセミナーの開催について (案)</p> <p>(4) みんなと 3 R フォーラムの開催について</p>
配 布 資 料	<p>[事前資料] なし</p> <p>[席上配付]</p> <p>資料 1 段ボールコンポスト出前講座 開催報告</p> <p>資料 2 段ボールコンポスト懇談会&園芸教室 開催報告</p> <p>資料 3 紙ごみ削減&エコアクション 21 紹介セミナー 開催報告</p> <p>資料 4 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業 実施報告</p> <p>資料 5 「みんなと 3 R」パネル展示会 開催報告</p>

	<p>資料 6 みなと区民まつりブース出展 出展報告</p> <p>資料 7 みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクトについて 実施報告</p> <p>資料 8 「みんなと 3 R」ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数</p> <p>資料 9 平成 28 年度の新規事業等について (進捗状況)</p> <p>資料 10 エコ料理教室の開催について</p> <p>資料 11 リユース♡(ハート)♡(ハート)ブリッジの開催について (案)</p> <p>資料 12 事業者向けセミナーの開催について (案)</p> <p>資料 13 みんなと 3 Rフォーラムの開催について</p> <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度港区 3 R 推進行動会議委員名簿 ・段ボールコンポスト懇談会&園芸教室 チラシ ・紙ごみ削減&エコアクション 21 紹介セミナー チラシ ・リサイクル施設バス見学会 チラシ ・エコ料理教室 チラシ
--	--

主な発言内容・報告内容

1 港区挨拶

本日は、お忙しい中、お集まりいただき感謝を申し上げたい。先日開催されました、みなと区民まつり 2015 においては、港区 3 R 推進行動会議委員の皆様にはご協力、お手伝いいただいた。後程の報告事項に対して、ご意見等があれば、お伺いし、次につなげたいと思う。

また、本日の行動会議は、報告事項が 9 件、意見交換が 4 件である。今後も、皆様の貴重なご意見を伺いながら、行動会議、普及啓発事業等を進めたいと思う。よろしくお願ひしたい。

●事務局からの説明

人事異動があり、環境課長が、浅山課長から関本課長に交替した。よって、港区 3 R 推進行動会議委員においても、浅山委員から関本委員に変更になる。

2 報告事項

(1) 段ボールコンポスト出前講座 開催報告

●事務局からの説明

段ボールコンポストを 2～30 分で紹介する出前講座を、子どもたちの夏休み期間中にエコプラザが主催の「らんま先生のエコ実験パフォーマンス」の後に行った。参加者は 14 組 40 名の参加があった。出前講座では、スライドによる段ボールコンポストの紹介、その後、段ボールコンポストに生ごみを入れて、かき混ぜる実体験をおこなった。エコプラザの事業と連携することで、効率よく集客ができ段ボールコンポストを PR することができた。

●主な発言

なし

(2) 段ボールコンポスト懇談会&園芸教室 開催報告

●事務局からの説明

今年度は対象を第 1 部では、5 月と 7 月の段ボールコンポスト講習会の受講者とし、第 2 部は、区内の在住・在学・在勤とした。参加者数は、第 1 部 11 名、第 2 部の園芸教室を合わせると 19 名であった。

1 部の段ボールコンポスト懇談会は、2 グループに分け、講師やサポータを交え、情報交換、意見交換を行った。また受講生から提出された実際に段ボールコンポストに取り組ん

だ記録シートをもとに事務局が、投入した生ごみの量や種類、段ボールコンポストを始めた一連の流れをスライドにし、情報共有を行った。

第2部では、ベランダ菜園のやり方や堆肥の使い方、育てる野菜の種類、植物の選び方を講師よりお伝えした。

アンケートの回答者のうち、参考になったと回答された方が28名中25名いた。参加者の満足度が高い講習会と考える。また講習会では、参加者が講師やサポーターへ質問を積極的に行っており、とても有意義な講習会であったと考える。

●主な発言

・第2部の園芸教室は、今回初めて実施したのか。（座長）

⇒園芸教室は、過去にも行ったことはある。だが、対象を第1部と第2部に分けて行ったことは初めてである。（事務局）

（3）紙ごみ削減&エコアクション21紹介セミナー 開催報告

●事務局からの説明

今年度は紙ごみを削減するテーマとエコアクション21（中小企業向け環境経営のあり方）を紹介する内容を併せて行うことで、区内の在勤者及び事業者に継続的に紙ごみを始めとする廃棄物の削減を目的とした。講習会の参加人数は、10社14名であった。

講習内容は、第1部「オフィスの紙ごみ削減について」では、古紙をリサイクルすることの必要性や古紙リサイクルの現状、紙ごみの削減方法、セキュリティ及びリサイクルに配慮した機密情報抹消事業の奨励及び推進について紹介した。

第2部「企業に求められる環境経営について」では、エコアクション21を活用しながら、中小企業の環境経営システムを構築し、運用することにより、環境保全と経営改善についてであった。その後、区より「港区のリサイクルシステム」を紹介した。講師の講演内容は、興味深く、ためになる内容であった。講演後のアンケートでは、14名の方から回答をいただき、全回答者から第1部、第2部ともに「参考になった」とのご意見をいただいた。

●主な発言

・参加人数が10社14名と昨年度より増えたが、広報媒体の中で何の影響により、集まったと思うか。（委員）

⇒チラシの効果が強かったと考える。東京商工会議所の協力により、チラシを4000社の企業にFAXしたことにより、多くの企業が集まったと考える。（事務局）

・「今後、ごみ減量やリサイクル推進に関してどのようなセミナーであれば参加してみたいですか。」とのアンケートに、「現場視察や、施設見学等に参加したい。」、「社員のリサイクル意識を高めるセミナーに参加したい」などの回答があり、今後の事業者セミナーの講習内容として参考にできると考えている。（事務局）

(4) 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業 実施報告

●事務局からの説明

芝浦運河まつりにおいて、リユース食器の利用支援を行うことで、イベントで発生する紙皿ごみの減量に取り組んだ。また、当日は実行委員会や港南中学校の中学生ボランティアと一緒に、ごみの分別指導を行った。

リユース食器の貸出枚数は、食器が1,500枚、スプーンが500本であった。また、あきる野市の「みなと区民の森」の間伐材で作った割り箸2,000膳を提供した。

ごみの分別指導について、他の自治体から参加した方に港区の分別を説明すると、関心を持って聞いてくれた。まつりは、区外からも多くの来場者が訪れており、区外ではごみの分別方法が異なることから、ごみの分別について、お住まいの地域ごとに異なることの表示等の必要性を感じた。

芝浦運河まつりは、地域主催のお祭りであるため、自主的な運営に移行していくことが可能となるよう、実行委員会へ引継ぎを行い、来年度からは分別指導についても自主運営に委ねていくことを、実行委員会に申し伝えた。

●主な発言

・実際にごみの分別で子どもに言われると、大人は決められたことをきちんと守ると思う。中学生は環境授業を受けているので、中学生と一緒に分別指導に取り組まれたことは、良かったと思った。(委員)

・ごみの分別指導について、来年度からごみの分別を自主的な運営に委ねるということだが、上手くいくのか心配である。地域がやるということであれば、役所がある程度関わりながら、徐々に移行することが必要だと思う。(委員)

⇒来年度から急に関わるのを止めるのではなく、来年度以降も実行委員会に情報を定期的に伝えて行きたいと考えている。(事務局)

・イベントの開催の直前になってという話ではなくて、始まる前に数回、中学生や、地域の実行委員会向けにごみの分別の出前講座を開催する必要があると思う。(座長)

(5) 「みんなと3R」パネル展示会 開催報告

●事務局からの説明

10月2日から10月8日まで、区役所の1階ロビーで、区内で3Rに取り組む企業、団体のパネル展を実施した。出展団体は、27団体であった。昨年度の21団体より6団体増えた。

またロビーの福祉売店側にて、みなとエコショップ認定店60店舗の情報をパネル化して紹介した。広報については、前回の3R推進行動会議で意見のあった、ケーブルテレビによるパネル展示会の案内を行った。

●主な発言

・出展企業が増えたのは、広報によるものか、何か働きかけをしたのか。（座長）

⇒出展依頼を直接行った。モルディブ大使館に関しては、出展依頼の文章を送り、資料を使って説明をした。その他の企業については、インターネットでCSR部のある区内企業を調査し、出展依頼を送り出展していただいた。（事務局）

・出展団体は、増えても展示する場所は、確保できるのか。（座長）

⇒展示場所の制限があり、30団体までなら可能と考える。出展されたパネルの内容は、昨年度よりも充実していた。昨年度は、彫像側のフロアーのみになっていたが、本年度は福祉売店側のフロアーにも展示場所を設け、みなとエコショップ認定店を紹介した。（事務局）

・パネル展示会の内容が充実しつつあるのは、良いことだと思う。（委員）

（6）みなと区民まつりブース出展 出展報告

●事務局からの説明

10月10・11日の2日間、みなと区民まつりにおいて港区3R推進行動会議のブースを出展し、3RについてPRを行った。今年度はブース出展にあたり、隣にある、みなとリサイクル清掃事務所のテントと連結させ2テント分のスペースを確保した。

出展内容は3Rに関するパネル展示やクイズによる普及啓発及び抽選会、かわら版の配布であった。ブース来場者数は、2日間で約1250名となった。3Rクイズでは、スタッフや大学生ボランティアが来場者と直接関わり、クイズを一緒に解き、ヒント等を教えることで、1人あたりのブース滞在時間を増やした。ブース内を見ていただけなかったお客様や、クイズに挑戦していただいた来場者に、みなとリサイクル清掃事務所のお知らせをまとめた「かわら版」も配布した。かわら版は、期間中に1082枚を配布することができた。

まつり当日、木原委員、関根委員、櫻林委員、森委員、中里委員にもお手伝いをしていただいた。この場を借りて、お礼を申し上げる。

●主な発言

・初日の午前中にお手伝いとして参加した。人の多さに驚いた。ブース内には、導かなくても入ってくる方がいてよかったと思った。ガラポンの景品が目当てで入ってこられる方もいたが、3Rに興味があつてか、自分から入ってくるお客様も多かったです。（委員）

・日曜日の午前中、お手伝いをした。昨年度に比べ、ブース内が広がって良かったと思う。ブースの中に入って、説明を聞かれる方が多くいてよかったと思った。大学生ボランティアの説明もしっかりできていたと思った。（委員）

・2つのテントがつながって、大きくなった。人が入りやすくなったように感じる。昨年度までは、ガラポンの景品の目当てで入られていた方が多かったと思った。今年は、自主的に中に入られていた方が多く、去年とは違っていたと感じた。（委員）

・多くの子どもがクイズに参加されていて、嬉しかった。外国の方も片言の日本語でクイズをしていただき、景品が当たったことに喜ばれていた。外国の方にもPRできたことが良かった。（委員）

⇒当日は、クイズ用紙が無くなってしまふほどの盛況ぶりであった。昨年度は、テント1つ分の展示をしていたため、人がブース内に並んでしまうと展示物が見られなかった。今年は、前回の行動会議を受けて、隣のみなとリサイクル清掃事務所のテントを一つにつなげた。（事務局）

・クイズの正解率は、どうであったか？（座長）

⇒「ビニール袋は、何ごみになるか？」という問題があったが、何ごみになるのかが分からない方がいて、分別方法について、もっとPRしなくてはいけないと感じた。（事務局）

・港区以外にお住まいの方が、「ビニールはどのように分別するのか。」と質問することがあり、それぞれの自治体の分別の違いについても感じた。（委員）

⇒そのとおりである。隣の区であってもリサイクルの種類が異なる。23区内でも分別方法はバラバラである。そのため、他の区から転居された人は、転居前の区の習慣で、資源やごみを出してしまうこともあると思う。港区の分別についてPRがもっと必要と考える。

（委員）

・クイズは、来年度も同じものにするのか。新たに考えるのか。容器包装リサイクルについて、もう一つ問題を増やす検討も必要と思う。（座長）

⇒来年の行動会議で、どのようなものにするかは、決めたいと考える。（事務局）

・回答する際の筆記用具が不足していた。（委員）

⇒来場者の見込み違いであった。今回は、多く用意をしたいと考える。（事務局）

・外国の方にも参加していただけるよう、英語のアンケートやクイズ用紙を用意されてもよいと思う。（委員）

（7）みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクトについて 実施報告

●事務局からの説明

今年度は明治学院大学、戸板女子短期大学、北里大学の学生ボランティアのご協力をいただき、2230枚のリユース食器を飲食店舗に貸し出すことができた。また、会場でリユース食器を扱う店舗をPRするためにメモ帳にチラシを入れて配布をした。リユース食器を回収するテントでは、クイズを実施し、正解者には防災食をプレゼントするなど、紙皿を減らしリユース食器の使用を積極的にPRした。

学生ボランティアには、10月10日に14名、10月11日に16名のご協力をいただいた。また、みなと区民まつりでリユース食器をPRするために様々なノベルティを作成した。オレンジ色のスタッフTシャツのデザイン及び作成とリユース食器及び食器利用店舗をPRするための来場者配布用のメモ帳を500部作成した。メモ帳の配布時には、チラシを同封しリユース食器についてPRした。リユース食器を利用する店舗をPRするためのパウ

チ看板の作成も学生が行った。

●主な発言

・ボランティアの学生は、年々増えているのか。（座長）

⇒人数は、あまり変わっていない。今年良かったことは、昨年度の3R推進行動会議委員であった小林様より、北里大学の学生を紹介していただき、新たなパイプができたことである。（事務局）

・ボランティアの件で、東海大学の学生も参加されたと聞いているが、本報告には大学名が挙がっていない。どうなっているのか。（委員）

⇒東海大学の方には、実行委員会が募集していた、ごみの分別指導のボランティアに参加していただいた。よって、違う部署の管轄になっている。どこの大学がどのボランティアに協力いただけるのか、祭りの直前になって、情報共有ができていなかったことがわかった。来年度はこのようなことが無いように、実行委員会で、学生ボランティアを一括して把握できるような体制を整えると報告を受けている。（事務局）

・新しいボランティアの大学が増えることは良いである。リユース食器を利用した飲食店の感想等はわかるか。（座長）

⇒食器を回収する時に尋ねたところ、「非常に助かる」、「紙皿より料理が美味しく見える。」等の感想があった。大学生が店舗の前で店のPRをしていたことが嬉しかったとの声もあった。次回は、アンケートなどを実施して、把握したいと考える。（事務局）

（8）「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数

●事務局の説明

7月以降の報告をする。7月のホームページの閲覧数は696名、ブログの更新回数は1回、Twitterは2回、Facebookは3回であった。8月のホームページの閲覧数は369名、ブログの更新回数は0回、Twitterは2回、Facebookは4回であった。9月のホームページの閲覧数は89名、ブログの更新回数は5回、Twitterは4回、Facebookは5回であった。ホームページの閲覧数の推移の原因はつかめていないが、Facebookでは、港区のお知らせやイベント等に合わせ、リユースなどを用いて更新した。（事務局）

●主な発言

・ホームページの閲覧数が急激に落ちているが何かあったのか。原因はつかんでいるか。（座長）

⇒想像になるが、9月は区民向けのイベントが少なかったからと考える。実際に行われたのが段ボールコンポスト懇談会&園芸教室であり、対象者が5・7月の講習会の受講者であった。今後は、ホームページのQRコードをチラシに載せたりして、閲覧者数を増やしたいとは考えている。（事務局）

・ホームページの閲覧数は、延べ人数だと思う。いろいろな原因があると思うが、2ケタに落ち込むことは、繰り返し見ていただけるような方が減っているからだと思う。難しいと思うが、内容を充実させることによって、繰り返し見ていただける方を増やすしかないと思う。どのような情報を載せるには、これからの課題だとは思う。(委員)

・どここのページが閲覧されているのか分かるのか？(委員)

⇒調べて、次回の会議で報告する。(事務局)

・見ていただく方には個人差があり、どのような情報を載せるかは難しいと思う。港区のホームページから他の動画サイト等のホームページに飛ぶことは可能であるか。イベント等の動画等を作成して、そこに飛ぶようなことができれば繰り返しみていただけると思う。3Rのホームページはどうだったかなど、繰り返しみていただける方が増えると閲覧数も増えると思う。(座長)

(9) 平成28年度の新規事業等について(進捗状況)

●事務局からの説明

前回の港区3R推進行動会議で、来年度の3Rを一層推進するために必要な事業に関し、新規や拡大、見直し等を含め、委員の意見を伺った。現在、新規事業や現事業の拡大のために財政課と企画課と次の3項目について協議中である。

1つ目、「3R低炭素化社会検定」取得のための連続講座。これは、1回に2時間程度の講習を5日間行うことを予定している。2つ目、5地区同時開催「みんなと3R」パネル展示会、3つ目は「みんなと3Rフォーラム」における講師講演のための報償費の拡充を考えている。

●主な発言

・5地区同時開催のパネル展示会については、決まっているのか。(座長)

⇒各地区で、10月の3R推進月間の時に各支所・区民センターでテーマごとにパネル展示を行いたいと思う。毎年テーマを入れ替え、パネルを回していくことで効率よく、効果的に3RがPRできると考える。(事務局)

・パネル展示は、民間企業が出展されるのか。(委員)

⇒1箇所については、企業のパネル展示を考えている。その他に関しては、みなとリサイクル清掃事務所や3Rに関してのパネルの掲示を考えている。企業によるパネル展示は、5地区同時開催の1部である。(事務局)

・1つ目の「3R低炭素化社会検定」は、対象者をどのように考えているのか。(座長)

⇒講習時間を午後6時ごろから午後8時程度を想定している。対象は、区内在住、在勤の社会人を考えている。環境に関心のある方に5回の連続講座の中で、港区のごみの現状等を学んでいただきたいと考える。(事務局)

3 意見交換

(1) エコ料理教室の開催について

●事務局からの説明

港区3R推進行動会議では、区民の方に料理を通して身近にできる3R活動を学んでいただくため、毎年エコ料理教室を開催している。本年度は、新しく試食後に各家庭が行っている、生ごみを減らす方法や料理の工夫について、グループごとに話し合ってもらう時間を設ける。また講師と調整し、親子教室、一般教室ともにメニューが決まった。講師のフルタニ先生については、過去2年間エコ料理教室の講師を担当されており、料理だけではなく、3Rのことや、水を大切にすることなども話して下さるので、適任者であると考えている。試食の後に、情報交換会を設定した。各家庭でのごみを減らす方法等を話し合っていたらこうと考える。

●主な発言

・去年まで募集人数は30名とのことだが、定員をオーバーしたことはあるか。(座長)
⇒定員をオーバーしたことはない。新しく会場がリーブラになり、料理教室のキャパシティが30名であるが、先生やアシスタント、事務局を考えると20名での募集を考えている。(事務局)

・実施事態に異論はない。参加しない方でも料理を作りたいと思われる方がいると思う。開催後の報告なり、フィードバックは予定しているのか。新しい取り組みとなる各家庭で行われている生ごみ削減対策についても、どんな意見があるのかフィードバックされる予定はあるのか(委員)

⇒実施したレシピは、ホームページで公表したいと考える。またレシピについては、イベント等において、パネル展示等をする事も考えている。情報交換会についても、良い意見等があれば、ホームページで公表したいと考えている。(事務局)

・ホームページに載せるのは、レシピだけではなく、イベントの写真も掲載してほしい。楽しそうな写真が掲載されていれば、次回の申し込みに良い影響を与えると考えている。(座長)

・ホームページに閲覧ということだが、講師の先生にコメントをいただいたり、参加者に体験記事を書いてもらい、それを読み物とすれば、リピーターが面白く感じると思う。また、講座に出られなかった方が、何をやったのかが分かるような、想起できる、若しくは体験できるホームページであれば、ホームページのリピーターの減少が抑えられると思う。このテーマとは少し違うが、港南地域では若い方が増えている。その意味では、「離乳食」というキーワードがあると考えている。募集人数が少ないのであれば、対象者を絞って事業をするのもよいと考える。(委員)

・子育て中のお母さんや子どもの食事に関する事等で、対象者を絞ることにより、普段来ないような方が参加して下さると思う。情報交換の場でどんなことを話されたの

かを、参加された皆さんに今後、「皆さんのご意見や状況の写真をホームページにアップします。」と事前に話すことにより、その方々が少なくともホームページを閲覧し、閲覧者数が増えると考えます。（座長）

・港区消費者団体連絡会でも11月13日に料理教室を行う。募集人数について、先着順とあるが、人数を超えた場合は抽選等を考えているのか。（委員）

⇒キャンセル待ちをご案内している。（事務局）

・以前、冷凍食品の保存方法等を含めた料理教室に参加したが、予算の都合上1回で終了してしまっていると聞いている。今の時代、一人暮らしの方も増えており、保存方法等がとても役に立っていると考えている。高齢者向けに物を捨てない料理というものを開催してほしい。一人暮らしになっても、食材を少量で購入することがあまりできないため、生ごみを減少させるためにも実施してほしい。またその時に段ボールコンポストも併せて行ってほしい。（委員）

・港区の広報番組で3Rを取り上げたことはあるか。取り上げれば、視聴者のニーズが増えると思う。料理教室を含めて、1年間の活動内容を放映していただくことを提案する。（委員）

⇒過去に、料理教室や、段ボールコンポスト講習会の取材にきて、放映したことはある。3R推進行動会議の内容については、ケーブルテレビでよく放映している。（事務局）

・日本スーパーマーケット協会では、このような料理教室を開催しているが、参加された方の意見を聞くと、非常に好評である。もっと開催回数を増やしていただきたいと思う。そして、ただ料理教室を行うのではなく、いろいろな切り口で行ってほしい。例えば介護食とか、離乳食というように、テーマを設定し積極的に行ってほしいと思う。（委員）

・料理教室も特定のテーマを設けるのがよいと思う。キャッチフレーズのような、皆さんに呼び掛けるようなものも欲しいと思う。（委員）

（2）リユース♡(ハート)♡(ハート)ブリッジの開催について（案）

●事務局からの説明

こちらは新規事業となる。区では区内に古着の拠点回収ボックスを設置し、古着を海外へ輸出しリユースしている。港区3R推進行動会議では、エコプラザと共催で、成長期の子ども服にターゲットを当てた、子ども服・本の交換会を開催したい。参加者が交換する服に自ら書いたメッセージラベルを貼ることで、物を大切にし、限られた資源を有効活用する意識の向上をするとともに、物々交換を通じた子育て世代の交流の場の提供することを目的とする。

第1部の交換会は、事前予約の方を対象に、古着や本の交換会を開催したい。第2部のフリータイムでは、第一部からの参加の方、予約されていない当日参加の方を対象とし、どなたでも服と本を自由に持ち帰れる時間とする。

会場は、エコプラザ1階サーチャング・ワーキング・ラーニングルームであり、対象を区内在住・在勤・在学者、子どもとの同伴も可としている。

広報みなどでは、1ページを使ってイベントをPRする。チラシは、区有施設の他、児童館や区内の保育園に配布を考えている。ポスターに関しては、区有施設や区の掲示板、小学校に配布を考えている。

●主な発言

・第2部は30分しかないので、争奪戦にならないか。(座長)

⇒時間が延びるのは、良いとは思っている。はじめての事業であり、広報の1ページを使って広告をするので、どのくらいのお客様が集まってくるのかが想定できない。まずは、やってみたいと思っている。日時に関しては、当日、エコプラザ前のプラザ神明でお祭りがあり、そのお祭りに合わせて設定した。(事務局)

・集まる人に、駐車場ありませんなどのアナウンスが必要と思う。(委員)

⇒手探りなどところが多く、どのくらいの人が集まるのかがわからない。いろいろな工夫をしながら、やっていきたいと思う。(委員)

・洋服であれば、夏と冬に分けてやると、いただく方に親切かと思う。季節に合わせて行うのもよいと思う。(座長)

・交換会ではあるが、置いてくるだけでも可能か。(委員)

⇒交換会に参加しないが、服を提供したいという方のため、エコプラザに古着を回収する専用ボックスを設置する。(事務局)

・町内会でも同じような交換会を実施したが、みんな服を持ち帰られた。(委員)

・メッセージをみると、服を大事にすると思う。メッセージがあるかないかで、扱い方が違うと思う。(座長)

・忙しいと、メッセージを書けないようなこともあると思う。(委員)

⇒テンプレートを用意している。その場でチェックして、記入できるようになっている。(事務局)

・普通紙のテンプレートを用意するのではなく、可愛いハート形の用紙にするなどの工夫も必要と思う。(委員)

・古着の拠点回収は、既に行われているが、子ども服に限定するのは初めてか。イベントのため随時、子ども服の回収はしていただけるのか。(委員)

⇒子ども服に関しては、初めてである。子ども服の回収ボックスを、エコプラザのみに、イベント終了まで設置する。(委員)

(3) 事業者向けセミナーの開催について(案)

●事務局からの説明

平成20年度から事業者向けセミナーを開催しており、区内事業者の3R推進を図る

ために行っている。事業者が興味を持つテーマを設定し、参加者数を増やすことが重要と考える。最近の事業者向けセミナーでは備蓄に関するものをテーマにしている。自然災害は毎年のように起きている。被害の増加に伴い、災害備蓄を準備する企業も増えている。災害備蓄品の中でも入れ替えが必要となる。防災・災害食については処分に困っている事業者も少なくなく、廃棄ではなく有効利用の道もあることを示すことが必要と考える。事業系の廃棄物の中でも食品ロスの割合が多くなっている。

先日、東京都では、全世帯に防災ブックを配布した。家庭でも、会社でも災害の備えが重要になってきている。防災食の入替え時に、廃棄してしまうことが問題になっている。過去に開催された備蓄食糧に関するセミナーでは、受講者が多い傾向にあった。今年も、備蓄に関するセミナーを実施することにより、食料の対策をテーマにしたいと考えている。

今年度の企画内容として、1案として、「備蓄食糧を廃棄せず、活用する方法をお伝えする講習会」を考えている。もう1案は「食品リサイクルについて」である。食品リサイクル法が改正になった。法の改正に伴い、対応が大変になるので、食品リサイクル法の改定のポイントや、今後どうなるかをポイントとする。

港区は、飲食店が多く、食品リサイクル法には削減目標が掲げられており、参考にしたいとか、どのように対応したら良いのか分からないという事業者も多いと思う。テーマに挙げたいと考えている。

●主な発言

・案1については、平成26年度の第2回に40社47名と多くの方が参加されていることもあり、似たような企画をしていると思う。備蓄食料を廃棄せず活用する方法は、目新しいことが学べるような気がしない。平成26年度の参加者が多いのは、震災への意識が影響しているものなのか。私の職場でも、期限の近づいた物は希望者に配布しているだけだが、企業にとって、1案の講習会に目新しいものがあるのか率直にお聞きしたい。（委員）

⇒基本的には、期限の近づいた備蓄食糧は、配るか、食べるかしかないと考える。結局、備蓄された物も大量にあれば食べ飽きてしまい、捨てられてしまうことが多い。ごみを減らすには、食べられるようなおいしい備蓄食料の選び方から始まると考える。また期限間近なものではなく、早やめに食べていただくような案内をする。確かに、目新しいものはないかもしれないが、ニーズのある内容だと考えている。昨年度は、定員を超えた募集があり、本年度もニーズはあると考える。（事務局）

・備蓄食料の選び方などは良いと思う。3、4年前だと乾パンが主流になっていた。好きな人は良いと思うが、嫌いな人であれば置きっぱなしになって捨てられていると思う。備蓄食料もおいしいものが出ているので、選び方も含めて今話を伺うと、参加したいと思う。チラシの案内で、今のような話が書かれていると「参加したいな」と思う。

(委員)

・防災訓練を行っていると思うが、その時に期限の近いものをその場で食べていただくのも一つのやり方だと思う。(委員)

⇒企業でも防災訓練は行われるので、訓練の場で食べていただくことも必要だと過去の講師の先生は話していた。その様な事を知らない方も多く、質疑応答の時にも、備蓄食料の期限が切れるが配る以外に方法はないかという質問をされた方がいた。テーマは、良いと思っている。(事務局)

・2案について、食品リサイクル法をしっかりと理解されていない事業者が多い。事業者向けに行った方が良いと思う。(委員)

・1案は、タイミング的に震災が起きて、備蓄がされ、そろそろ備蓄食料を廃棄するというタイミングが良いと思う。2案は、かなり大きな改正であれば講習会を行っていただきたい。(委員)

⇒来年が、震災から5年になる。どちらのテーマもよいと考えている。(事務局)

・ここ数年、食品リサイクルに関するテーマの講習会が多く開催されると思いますが、生ごみの削減、ごみになるものをどうやって削減していくのかがテーマになっていくと思う。企業からでる生ごみよりも、家庭から出る生ごみ、食品ロスによる廃棄物は意外に多いです。食べられるのに捨ててしまうものが、ごみとして多く出ている。一番大切なテーマだと思う。(座長)

(4) みんなと3Rフォーラムの開催について

●事務局からの説明

港区3R推進行動会議では、1年間の活動の集大成として、区内の各団体や大学生等と協力し3R推進を図るためのイベントを毎年「みんなと3Rフォーラム」として開催している。

今年の企画内容については以下のとおりである。1つ目はパネル展示である。2つ目は小さな家具のリサイクル展である。ただし無料提供できる家具の減少及び前回の参加者の人数を考慮し、今年度は開催しない可能性もある。3つ目の事業者向けセミナーについては、先ほどご相談しましたとおり、どちらかニーズの高い方にしたいと思う。

4つ目の区民向け講習会だが、1案が段ボールコンポスト講習会を予定している。定期的に、春の園芸教室を抱き合わせてできたらと考えている。園芸教室の講師をお呼びし、春蒔きに適しているプランター野菜の紹介も行う予定である。2案として、お部屋のお片付け、整理整頓講習会を予定している。講師より家や部屋の片付け術、掃除や整理整頓術を紹介する。参加者には無駄な物を買わないこと、物を大切にすることを学んでいただけたらと考える。

区民向けイベントとしては、講演会を予定している。候補者は未定であり、第1候補として、上田マリノ氏。エコライフフェア MINATO 等に出演され、歌を唄い、「環境新

聞」 「月刊エネルギーフォーラム」に連載もあり、エネドルとして活動中の方である。

第2候補として、舟津宏昭氏。富士山アウトドアミュージアムの主催をしている。第3候補として、エコや3Rに関する学識経験者とする。その他、エコプラザとの共催事業として「リユース♡ブリッジ」の第2弾や、ごみ拾い体験等を企画している。

●主な発言

・区民向けの講習会であるが、新しく「お部屋のお片付け、整理整頓講習会」を考えてみた。お部屋の片づけ術等が有名になっており、整理整頓をすると、無駄なものが無くなるというようなことを話していただき、3RについてもPRできると考えている。(事務局)

・どういう方を対象とするのか、どういう方を対象としたいのかを絞ればよいと思う。(委員)

⇒区民向けに関しては、以前の会議でもあがっていたように、親子向けを対象としている。一方で、イベント系では、親子向けよりは上の方を想定している。講演会が良いと考えている。(事務局)

・イベントが土日の開催だと、家から出なくてはならない。聴講者があまり集まらないようであれば、講演される方に申し訳ないと思う。講演される方の魅力を活かした方が良い。(委員)

⇒イベントは土日を予定しているが、行う内容によっては平日も考慮する。(事務局)

・リユース♡ブリッジが終わってからでは遅いか。(委員)

⇒可能ならば、本日、大枠を決めていただきたいと思う。(委員)

・リユース♡ブリッジの第2弾の案が出ているが、1回目がどうなのかもわからない。大枠が決めきらないが、リユース♡ブリッジの様子を見て、企画会議で決めるということで良いか。(座長)

⇒企画会議で詰めたいと思う。(事務局)

4 その他

・次回の会議予定日

第2回3R企画会議 12月18日(金) 午後2-4時

以上